

「校長たより」にアクセスいただいた皆様

「校長たより」にアクセスしていただき、ありがとうございます。今回は、次の3つを掲載いたしました。

①子どもたちへのきらっと光るあたたかい声

○お店の方に聞きました！ ～11/26（火） 中学部商店街訪問学習から～

②本校の教育活動

○さらなる高みへ！ ～11/27（水） 小学部授業公開研修から～

○学校がすべきことは何？ ～11/29（金） PTA 進路学習会から～

○同世代間交流の成果と課題

③卒業したら社会人 ～県立川西高等特別支援学校のパンフレットから～

お読みいただき、本校の教育活動にご理解いただくとともに、ご指導ご助言いただきますようよろしくお願い申し上げます。

校長 上松 武



令和6年12月3日



チームふれあい 27人の先生方へ

「なかよく たのしく たくましく」生きる

子どもの育成を目指して⑰ -1203 職員会議資料-

～自分のできることで、まわりの人を笑顔にしよう！幸せにしよう！～

上松 武

1 子どもたちへのきらっと光るあたたかい声

○お店の方に聞きました！ ～11/26（火） 中学部商店街訪問学習から～



- ・ 中学部生徒を4つのグループに分け、1年を通して「ショップバッジ」の製作依頼のあったお店を、各グループで数店舗を担当しながら本日の納品まで学習を進めてきました。
- ・ いくつかのお店を訪ねて、次の質問をさせていただきました。

①ショップバッジはどのように使われますか。

②訪問した生徒たちの話し方や態度はどうでしたか。

③障がいのある人もない人も暮らしやすいまちにするためには、何が必要だと思いますか。

- ・ 表のように、生徒たちの頑張りが認められ、とても嬉しい気持ちになりました。
- ・ 質問③の回答を聞き、同じ考えの方々が周りには大勢いることが分かり、地域の方と「心ひとつに」して暮らしやすい街にする想いが一層強くなりました。

質問事項	①	②	③
A店 1班担当	・お客様にとっても人気なので、すぐなくなります。冷蔵庫などにメモを貼る時に使ったりするようです。	・とても一生懸命でした。まったく心配なくやりとりができていました。	・例えば、書くのに時間がかかるのであれば待つてあげるように、その子に合わせたほんの少しの気遣いが必要だと思います。
B店 2班担当	・今回初めてお願いしました。お客様にプレゼントしたり、SNSでバッジを紹介したり作ってもらうことに至った経緯を発信します。	・どの生徒も立派にやりとりができていました。「オレは班長だから」とリーダーとして笑顔で頑張っていた姿が印象的でした。	・どんな人とも分け隔てなくかかわることが大事。そして、分かりやすく伝えたり話しやすい雰囲気を作ることも必要。
C店 3班担当	・名札に付けたりして使わせてもらいます。今回は今までにない黄色を使ってみました。すがすがしい出来栄です。	・お客様がたくさんいて「ごめん、もう一度言って」と繰り返させてしまいましたが、きちんと対応してくれました。	・仕事柄、障がいのある方も来ます。分け隔てなく対応することが必要だと思います。
D店 4班担当	・お店に掲示する際に使ったり、お客様にプレゼントしたりしています。	・伝えたいことを自分の言葉にして伝えていました。相手の目を見て、話すことができていました。	・この学習のように、もっとたくさんの交流の場があるといいと思います。

2 本校の教育活動

(1) 授業改善

○さらなる高みへ！ ～11/27（水）小学部授業公開研修から～



- ・先日、小学部の授業を広く市内の小中学校や特別支援学校に公開して、新潟大学の村中教授から指導を仰ぐ研修を行いました。
- ・12月4日（水）に実施した十日町小児童会主催の『ビッグフェスタ』に向けて取り組んだ学習活動の1時間を公開しました。
- ・このビッグフェスタでは、3年生から6年生までが2つのグループに分かれ、「お客さんに喜んでもらおう」を合い言葉に、「たまいれ」と「ガラッキー」のお店を可能な限り自分たちの力で運営しました。
- ・先生方から指示されることなく、自分たちで考え判断したり、仲間と相談したり、一緒に一つの活動をやったりとお店の設営準備に取り組んでいました。また、たまいれやガラッキーのゲームに関しても、喜んでもらう工夫を相談して決めたり、仲間の意見を聞いたりして進めていました。まさに、子どもたちがお店を運営していました。
- ・このような授業を参観した村中教授からは、「すでに子どもたちが分かって動いて学習に取り組んでいる。だから、ギリギリまで待つて支援すること、少し困らせて気付かせる支援をすることを心がけていきましょう」とアドバイスをいただき

ました。

- ・さらに、先生方や第三者からの評価を取り入れながらも、「障がいのある子どもには難しい課題ですが、自分で自分を評価できる力（以下の【例】参照）を付けていきましょう」と更なる高みを宿題としていただきました。

【例】「私には〇〇の役割がある。だから、がんばらなければ」

「私がいないと〇〇で困る。だから、しっかりしなくては」

「私は毎日よくやっている。だから、〇〇もできるようになったんだ」

- ・日々の授業を大切にしている先生方の努力がこのように花開き、先生方を誇らしく思います。更なる高みへ、そして更なる授業改善へ、目指していきましょう！

○学校がすべきことは何？ ～11/29（金）PTA 進路学習会から～



- ・フリー学習参観日に合わせて、PTA 主催の進路学習会を初めての試みとして実施しました。元PTA会長の樋口絹代様を講師にお迎えし、「ふれあい在学中にやっておくこと・できること」と題して講話をいただきました。ご自身のお子様かふれあいを卒業して高等部に進学した時に感じた後悔の気持ちを、在学中の保護者には味わってほしくないと思い、職場実習のことや就労形態があること、どこにどんな福祉事業所があるのか知っておくことなどを熱く語っていただきました。
- ・講話の後は、お子様の年齢別に3つのグループに分かれて、ふれあい卒業後の生活や高等部の現状、障害年金など多岐わたる話題であったという間に時間が経ってしまいました。
- ・ふれあい卒業生の保護者の声や想い、悩みや不安などから、本校がこれからすべきことは何か。他にもあると思いますが、次の3つを計画的に進めていくことだと考えています。

みや不安などから、本校がこれからすべきことは何か。他にもあると思いますが、次の3つを計画的に進めていくことだと考えています。

- ①生涯に渡って寄り添う保護者の方への、先を見据えた情報提供の機会を設定すること（【例】福祉サービスに関する学習会、障害年金学習会など）
- ②在学中に保護者同士がつながれる機会を設定すること（【例】親子レクなど）
- ③卒業生の保護者とつながれる機会を設定すること（【例】先輩保護者の話を聞く会（仮称）など）

- ・樋口様の話の中に、「学校教育が終わった後の安定した生活がとても重要だ」とありました。その安定の源は家庭であり、保護者の方の安心であると考えます。将来に少しでも安心感が得られる取組を積極的に進めていきます。



(2) 認知度改善

○同世代間交流の成果と課題

- ・今年度から始めた「同世代間交流」。成果と課題が気になるところです。今年度の同世代間交流を終えた学校には、次ページのような質問を依頼して回答をお願いすることにしています。
- ・そして、令和7年度は上記の回答内容も加えて、次のページの表のように実施していこうと考えています。
- ・同世代間交流を実施する意義はあり、双方にとって多くのことが学べる貴重な機会だと思っています。将来、今の社会をよりよくしていくのは子どもたちです。このような活動から、誰もが尊重され認められ、自分らしく生活できる社会にしようと行動する子どもたちの育成に力を注いでいきます。

< 質問事項 >

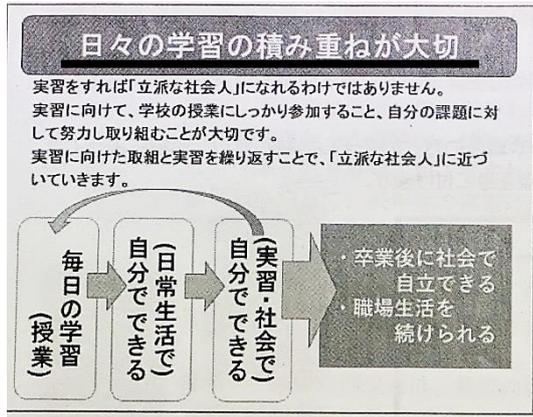
- 質問① 同世代間交流において、何を目的にしましたか。
- 質問② 設定した目的は達成できましたか。その理由も簡単でよいので記述願います。
- 質問③ 同世代間交流は、貴校の教育課程ではどのような位置付けにされていましたか。
- 【回答例】
- ・4年生の「総合的な学習の時間」における「福祉」という単元に位置付けて実施した。
- 質問④ 今回の同世代間交流での子どもたちの学びを、今後どのように生かしていこうとお考えですか。
- 【回答例】
- ・校内の特別支援学級在籍の児童に対して、同世代間交流で学んだことを意識して接するように生かしたい。
 - ・どんな人とも分け隔てなく関わるにはどうしたらよいか、という学習に広げて考えさせたい。
- 質問⑤ 同世代間交流を実施してみて、よかった点や改善する点、そして要望がありましたら、記入願います。

< 令和7年度の実施に向けて >

	令和6年度	令和7年度
学校数	小学校4校 中学校1校	小学校1～2校 中学校1校
教育課程への位置付け	・年間指導計画に位置づいた単元における学習活動の1つとして実施した学校 ・単発的な交流活動として実施した学校	・各教科等の年間指導計画に位置づいた単元における学習活動の1つとして実施する学校
事前事後準備	・事前打合せ、事後確認をいずれの学校とも実施	・事前打合せ、事後確認は実施
居住地校交流との兼ね合い	・居住地と重なった児童生徒は同世代間交流と兼ねることで居住地校交流を実施	・居住地校交流とはねらいが違うため、同世代間交流とは兼ねない。

3 お耳を拝借!!

(1) 卒業したら社会人 ～県立川西高等特別支援学校のパンフレットから～



- ・ 11月16日(土)に県立川西高等特別支援学校で「やまゆり祭」が行われ、参観に行ってきました。プログラムと一緒に『卒業したら社会人』というパンフレットが挟み込まれていました。とても大切なことが書かれていましたので、紹介します。
- ・ 卒業後に求められる力は、次の7つです。
 - ①あいさつ(礼儀)、②返事(理解をした返事)、③休まないこと、④時間を守る、⑤素直さ、⑥報告・連絡・質問・謝罪、⑦安全確保

- ・ 毎日の学習の積み重ねがあつてこそ、「社会人」になれます。事業所の方々に、「この人と一緒に働きたい!」と思ってもらえる人になりましょう!